



クリーン灰化装置による高分子材料中極微量分析

クリーンな前処理装置と高感度な分析装置を組み合わせることにより、極微量成分の分析が可能です。

高分子材料の試料前処理技術

- クリーンルーム(クラス7:100,000/ft³)内に**微量分析専用の灰化炉**を導入しました。

- 灰化工程での汚染(コンタミ)リスクを低減
- 試料前処理から測定まで一連の工程をクリーンルーム内で実施
- 多検体の同時処理が可能

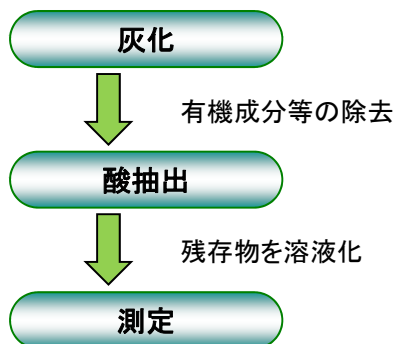
対象試料

- 有機、高分子材料 (燃料電池用電解質膜、合成触媒、各種樹脂 等)
- 炭素材料 (貴金属担持触媒、黒鉛 等)
- 生体試料
- 食品 等

ppm～ppbレベルの
極微量不純物分析

試料組成に合わせて任意の温度条件で灰化が可能です(最高1000℃)。
不活性ガス雰囲気での処理もご用命ください。

分析の流れ



測定元素の濃度に合わせて最適な分析装置を選択



クリーンルーム内に設置した灰化炉
右:大容量タイプ 左:耐食性タイプ

クリーンルーム内に設置



ICP質量分析装置



電気加熱原子吸光分析装置



ICP発光分光分析装置



JFE テクノリサーチ 株式会社

<http://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2016 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。